

生き生きと生涯学習企業をめざして

百年塾モデル企業 日立電線日高工場

「今の若者は、かっこよい会社に入りがります。若者を集めるためには…」
具体的でわかりやすい講話が続きます。日立電線日高工場で2月8日茨城大学の帯刀 治教授の「地域と市民、そして企業」と題して講演会が行われました。聞き手は日高工場と関連企業の部課長など幹部社員の方々100名ほどです。たいへん忙しい勤務の中で、工場の仕事に直接関係のない話に熱心に耳を傾け、うなづきながら聴いておられる様子にたいへん感動を覚えました。

日立電線日高工場は、昨年8月からひたち生き生き百年塾の生涯学習モデル企業の指定を受けられ、百年塾推進本部企画広報部会委員5名、日高工場総務部2名、事務局社会教育課3名で企業・市民・行政の三者で委員会を構成。生涯学習社会における企業のあり方や地域社会に開かれた企業としてどのようなことができるのかについて協議を重ねてきました。

社内的にも、百年塾副本部長でもあ



部課長対象に生涯学習講演会

藤田総務部長や立花課長が中心となり、魅力ある工場、地域と共に発展する「地域に開かれた工場」を目指し、関係課との連携をとりながら、すでにいくつかの取組みを進めております。

先に発刊された社内報「電線ニュース・日高(1990.11.1号)」にその取組みの様子が掲載されました。その一端を紹介いたします。

- 1 百年塾市民教授に工場従業員数の1%以上(28人以上)を登録する。現在、従業員数の1.1%、32名が登録されています。
- 2 パソコン通信による生涯学習情報提供システムのPRコーナーを4月までに工場内に設置する。
- 3 社員対象の生涯学習講演会の開催 前述の講演会は第1回目として実施されました。
- 4 工場の福利厚生施設の一般開放。現在スポーツ少年団など一部開放をしていますが、さらに一般市民へ開放を広げ、開放する施設の情報も



企業・市民・行政の三者で委員会

パソコンネットワークでもPRする。これらのほか、工場開放イベントの開催や地元日高公民館との連携による従業員の市民教授を活用した「野鳥観察会」の開催など、さまざまな取り組みをすすめていきたいということです。「生きることは、学ぶことである」「地球は愛を学ぶ星です」などと言われ、ますます生涯学習の必要性が高くなります。日産自動車の久米社長も、企業の経営課題として国際性と社会性をあげ、企業が地域社会とどうかかわって

いけばよいか、を聞いておられます。日高工場のこの試みが市内の他の工場に波及し、日本のそして世界の企業のあり方に一石を投ずることができると大きな期待を寄せております。

(企画広報部会 沼田)



市民開放が広がる企業施設

百年塾 新しい波

～音楽療法の世界から～

点火プラグ/百年塾



昨今では、無我夢中である勉強、育児、企業戦士の時代は、人生の一定の時期のように、多くの方が思っているのではないのでしょうか。その上で、個の確立を求めながら、人生の一層の充実を考えて暮らしているように見受けられます。そんな一人としての私と、百年塾との出会い、すなわち、「ひたち音楽療法を考える会」の発足についてご紹介します。

当時、日本では勉強する場も、チャンスもなく、密かな希望は心の引出しに仕舞われながらも、時々出しては勉強したり、施設でのボランティア活動の、原動力となっていました。

その引出しを、だいたい一杯になってきた頃、百年塾事務局の伊藤智毅さんと出会うチャンスを得ました。

突然伺った私の話を熱心に聴いて下さった後、私の人生充実「音楽療法号」にエンジンをかけ、いくらかの食糧と水、それに、地図には困ったときに相談に立ち寄るべき知恵者の家の印を付けて、出発を促してくれた……というのが、私の感想です。

以来、百年塾委員の清宮悠子さん鳥悦子さんをはじめ多くの方が非力な私を要所要所の信号で見守ってくれています。市民の多くの方々の暖かいお力も得られるようになってきました。

免許取立ての私が、社会に参加し、人生をクリエイティブにゆけることは、大きな喜びであり、文化そのものだと思っております。無限の可能性を秘めた百年塾に、感謝と声援を送ります。

(ひたち音楽療法を考える会代表) 大橋 美恵

「ひたち生き生き百年塾」への期待

特別寄稿

日立市の「ひたち生き生き百年塾」の名は、以前から耳にしていました。いかに称からくるイメージのせいでしょうか、私に伝わっていたのは、おおよその内容として、この塾は、特技をもつ高齢者が集まり、学習しているサークルか人材銀行というものでした。正確なところは知らなかったこともあって、「ひたち生き生き百年塾」に対する私の予想は、いくぶん期待もこめながら次のようなものでした。曰く「ひたち生き生き百年塾」は〇まちづくりのアイデアを生み出すところ、住民主体のシンクタンク。〇自分の得意な分野を地域の人々のために生かして、さらに伸びようとする、やる気のある人々による地域ボランティアの組織。〇多少自信はなくても、思い切った飛び込んでいき、自分の得意な分野でまちのために生かすとともに、新たな分野にも挑戦しそこから自分を育てようとする意欲に満ちた人々による学習の会。〇性別、年齢など一切の制限もなくあらゆる分野の人々が、だれでも自由に参加し、学習と交流を中心とする地域の人々の交流の組織。〇地域に誇りをもち、新たな可能性を探ろうとする、



文部省社会教育官 福留 強

自己啓発に意欲を燃やす、創造的な市民の会、等々ずいぶんと欲張りなものでした。もし、こういうものが街に存在すれば、それはまるで生涯学習時代を先取りするような機関であり、団体・組織であるといえると思います。

しかし、実際に、「ひたち生き生き百年塾」の関係者に接してみると、その性格や活動は正解とは言えないまでも、いわばことごとく私の予想を裏付ける

ものばかりだったのでした。しかも、それは、かなり地についた、まちに不可欠の活動体なのです。

この塾の活動はもっと評価されてよいと思います。私は、自信をもって他の市町村に紹介することができると思っています。そのためには、もちろん、実際の活動はさらに充実させる必要はあるでしょう。そして今後は、「ひたち生き生き百年塾」が、市民の一人でも多くの人々に理解され、支持されるように、より一層努力することも必要でしょう。

市民のひとりひとりに期待したいこと、それは、百年塾を楽しもうということではないでしょうか。さまざまな可能性を持つ塾なのですから。

百年塾 けいじばん

こんなことも教えられます。こんなことが習いたい。ぜひ、百年塾をご利用ください。

教えたい

手話、KJ法、リフォーム、家庭介護、家電品の使い方、刃物の研ぎ方、童謡、縄土器作り、音楽療法、イラスト、

能面彫刻、園芸クリニック、石川啄木、パソコンプログラム、特許手続き、カラーコンサル、家庭菜園、ヘブライ語、ポルトガル語、家庭寿司

習いたい

ラテン語、ワープロ、上手なマイホーム建築、世界の料理、手作り家具



12/8開催の音楽療法講演会



わたしたちも市民教授です

あの人 市民教授 この人

1990. 3. 8~1991. 2. 20
(この期間に登録された方たちです)

市民生活学部

- 関山 武光 (高萩市) 高齢者問題
- 橋本 正隆 (杉並区) 人間関係
- 渡辺 吉雄 (森山町) 人間関係
- 小野小夜子 (田尻町) 手話

文化学部

- 佐藤不二男 (川尻町) 謡曲、仕舞
- 柴田 一郎 (水木町) "
- 宇津 淑子 (多賀町) 手作りネクタイ
- 梅津 且子 (千石町) 盤景
- 萩野谷泰子 (東金沢町) パッチワーク
- 菊池 洋子 (常陸太田市) "
- 園原 愛子 (高鈴町) パンフラー
- 滝 キミヨ (塙山町) しめ飾り、わらじ作り
- 橋本 妙子 (末広町) 和紙はり絵
- 藤井 敏子 (西成沢町) 紙粘土人形
- 丸山美恵子 (東金沢町) 手芸、自然運動
- 折内 すす子 (本宮町) 七宝焼

パソコン通信 あなたもぜひ体験しよう!!

市民交流ネットワークひたちをご存知ですか。市民教授など百年塾情報はこのパソコン通信のネットに入力されているのです。

百年塾情報をはじめ気象・統計・イベント情報などを一度のぞいてみませんか。下記の場所へどうぞ!!

- シビックセンター(B1)情報プラザ AM10:00~PM6:00(月・第1火休館) シビックパルが指導します。(無料)
- お近くの公民館でもご相談ください



パソコン通信セミナー '91. 2. 23

おじゃまします (百年塾施設訪問)

玄関を入ってすぐ目に付くのが図書室。すどうしのガラス戸越しに見える机と椅子は、長い時間でも一人でゆっくりできそう。奥の和室への入口がまた趣がある。格子戸があり、そこから黒竹の植え込みが楽しめる。まるで坪庭のようで、「え、公民館なの?」と思わずに独り言に、案内をしてくれた



親子そろって藍絵教室

- 小沢 正恵 (常陸太田市) かな書道
- 佐藤 信子 (日高町) 毛筆
- 松永 茂子 (西成沢町) 書道
- 瀬谷 瑞枝 (多賀町) 人形作り
- 會根けさ子 (金沢町) 剣舞、詩舞
- 丹藤 紀子 (若葉町) 茶道
- 加藤 正明 (小木津町) "
- 小松 文子 (西成沢町) 華道
- 水庭 桂子 (神峰町) "
- 柳内 真 (末広町) 琴、三絃
- 柳内 咲美 (末広町) "
- 荒川 友充 (森山町) 将棋
- 鈴木 勝 (助川町) "
- 金沢 なか (西成沢町) 民謡
- 関 石造 (") 詩吟
- 吉田 儀幸 (白銀町) 溪流釣り
- 栗田 正勝 (川尻町) 古銭収集
- 伊藤 律子 (大みか町) 民謡
- 笹井 知代 (森山町) 菓子作り
- 依田 早苗 (西成沢町) ピアノ
- 長山 安男 (日高町) 写真
- 斉藤 敦 (会瀬町) "
- 海老根俊章 (十王町) "
- 佐藤 光広 (鹿島町) 作曲

- 加藤 朱通 (日高町) 作曲、編曲
- 鈴木 輝美 (会瀬町) 日本人形づくり
- 石井 肇 (助川町) 油絵
- 高橋 京子 (会瀬町) 陶芸
- 田尻 正光 (田尻町) 万年青作り

家庭生活学部

- 足立 利江 (常陸太田市) 幼児教育
- 塚田 正子 (多賀町) 洋裁
- 那須 和子 (みかの原町) 手編
- 福地 静子 (本宮町) 洋裁
- 川上美智子 (水戸市) 生活文化
- 花田 汎子 (若葉町) 料理
- 水野 秋男 (折笠町) 日曜大工
- 大貫 達藏 (留町) 臨床検査
- 門馬 正和 (助川町) すしづくり
- 菊地 玲子 (南高野町) 手編
- 鈴木 たい子 (中里町) つけもの
- 荒川 益美 (森山町) 健康について

健康・スポーツ学部

- 関 三恵子 (東金沢町) バトン
- 中山多美子 (") 健康
- 三浦 明子 (諏訪町) ヨーガ
- 荒川 充洋 (高鈴町) ヨット
- 菅野 嘉治 (東大沼町) 柔道

- 豊田 茂 (日高町) 柔道
- 助川 達男 (大久保町) "
- 千葉 明 (高鈴町) "
- 斎藤 英昭 (勝田市) 水中ダイビング
- 笠原 勝美 (台原町) クルーザー帆走
- 草野 恵一 (日高町) モータースポーツ
- 斉藤 博 (") 標的射撃
- 宮内 梅治 (墨田区) 足と健康
- 花輪 武 (幸町) 弓道
- 高岡 芳枝 (神田町) バドミントン
- 鈴木 勝也 (砂沢町) トライアル

教養学部

- 島崎 昌彦 (諏訪町) 歴史
- 古越 光雄 (大沼町) やさしい科学
- 桜井 照男 (神峰町) 電気について
- 田上 正敏 (田尻町) 高山植物観察
- 矢吹 勉 (高萩市) バードウォッチング
- 赤上 和吉 (滑川本町) ヘブライ語
- 木下 勝弘 (神峰町) クラシック音楽
- 谷藤 金雄 (田尻町) 測量士補受験

産業技術部

- 今橋 隆道 (多賀町) パソコンプログラム
- 今橋 弘美 (") ワープロ
- 柏 恵子 (神田町) カラーコンサルタント

生き生きと百年塾しています

町の中で、あなたの身近なところで、たゆまず学習している、こんな人・あんなグループを見つけました。

短歌 …日々の糧、心の支え…

ここに一冊の歌集がある。その名は「忘れな草」。序文・岩田正、帯文・馬場あき子。作者の笹本二三子さんは「かりん」会員である。

感性をときずまし、かつて光の中で見た物を、無明の暗の中から復元し、31文字で具象する。その不屈の精神は、困苦の日々や中途失明のハンディさえも、魂の美しい花園に昇華して今、盲いた人々のなぐさめとなり、励ましとなっている。

網膜剥離で失明、自殺を考えた時、広島からとんで来た友達が「心を外にむけなさい。短歌をはじめたら……。」と勧めたのが歌道入門の動機だという。歌は人生の底荷のようなもの、歌を見ればその人がわかる。年をとったから、身障者だからと甘えてはいけない。一人で強く生きていきたいとも言う。その反面、雪の日にその身を案じて雪

かきをしてくれた人に涙し、世話になった人には自分の力でお返しをしたいと、断水の日に外出した隣人のために水を汲んで待つ人でもある。良い隣人ほど頼りになる者はいない。私は人の情で生かされていると感謝し、歌が命と本物の人生を生きる69才である。



- 嫁がせし子は他家の者 娶りたる
- 子は嫁のもの 老いはわが所有
- あらかさの若葉潜りてゆく水の、
- せせらぎ牙ゆる山の静もり
- 眸眯し余生をかこち居る吾も

歌学が初め心あかるし

水泳教室 みんな一緒に

平成2年9月に誕生した水泳グループを紹介します。

会員は42名、平均年齢45~6歳の仕事を持っている人が大部分です。

グループの指導者は水泳市民教授の

滑川公民館

とを目的としている。こうしたイベントには、ちょっと素敵なおまけもついている。地域に住む絵画の同好の志の手による滑川八景を、絵はがきにして販売。目にした方も多いのでは。さらに、自然と人間のかかわりを見直すという視点が生まれ、滑川浜の環境保全についての要望書の上申にまでなった。

百年塾運動を声高にでなく、着実に実践している「なめかわ公民館」ぜひお出かけください。

気軽にご相談ください

- 市民教授になりたい・探したい
- どんな施設があるか知りたい
- グループに入りたい・つくりたい
- どんな講座、教室があるか知りたい
- その他百年塾に関すること

百年塾相談コーナー

どんなことでも結構です
お気軽にご相談ください。

百年塾相談コーナー
☎ 21-8762

渡辺健次さん。仕事のかたわら水泳、いそしみ、平成元年には茨城県水泳連盟の指導員の資格を取得した渡辺さんならではのアフターファイブの社会人グループですが、他にももう一つ大きな特徴があります。

9月のスタートの時には健常者だけで構成されていたのですが、10月からは耳の不自由な人たちも、一緒に活動を始めることになりました。人数は10名ほど、男5名女5名でご夫婦そろってという人もいます。

10人を他のメンバーと同時に指導するのに考えなければならなかったことは、コミュニケーションの方法でした。10人との話し合いで、手話通訳の人がいれば問題はなく学習効果もずっと上がるので、通訳ボランティアをさがすことになりました。いまでは、3人の方が交代で活動しています。

その中のお一人に、活動していてどんなことが大変ですかと尋ねると、「私はボランティアとして活動しているのではないのです。泳ぐことが大好きなのでぜひ習いたかったし、なにより誘ってくれたこと、みんなと一緒に泳ぐのが嬉しいんです。私たちは、友達同志なんですよ!」そんな答えが返ってきました。



神峰プールでの水泳教室